

2020年度 東北大学前期試験 英語解答・解説および配点予想

ここでは英語の満点を200点満点で考えています。学部学科によっては満点が異なる場合がありますが、採点基準は共通であると考えられます。

【分析】

| 問題 | ジャンル | 難易度 |
|-----|------|-----|
| I | 論説文 | やや難 |
| II | 論説文 | やや難 |
| III | 対話文 | やや難 |
| IV | 英作文 | 難 |

【解答】

I

- 問1 生肉を保存するために、降り積もった雪は、塩と同じくらい効果的であるかもしれない、という説。
- 問2 風邪と寒さの関係について、ウイルスが風邪を引き起こすのであり、気温は関係ない、とする実験がある一方で、低体温が免疫力を下げ風邪をひきやすくなるという説もあること。
- 問3 証拠を集めて実証的な手法を用いても、結果的には理解したことにはならず、不確実さが残ってしまうこと。
- 問4 我々が真実であると思っていることは、常に検証可能であり、このことが検証された事実の信頼性を高める。
- 問5 (1)ーウ (2)ーイ (3)ーア (4)ーエ

II

- 問1 ただ単に商品を買ったり使ったりすることよりも、情報とサービスに重きを置く、脱工業化時代に向かっているということ。
- 問2 イ→ア→エ→ウ
- 問3 ウ

問4 例えば、インターネット対応の明かりのスイッチは、家の持ち主がスマートフォンを使って、明かりをつけたり、消したりする時間を設定したり、同じスマートフォンからその場で操作するばかりではなく、ソフトウェアに接続することも出来る。そうすると、家中の明かりの電力消費を分析し、無駄を省くことを勧めてくれて、お金の節約にもなる。

問5 イ、エ、キ

III

1 ① - a ② - c ③ - b ④ - d

2

a) Bradley might want to join the equestrian club for three reasons. His main goal is to make new friends and enjoy a social life. He could also learn an exciting sport and gain completely new skills, since he has never ridden horses before. Finally, the senior club members could guide him, and he could pass along the knowledge to new members in the future. (64 words)

b) Bradley might not want to join the equestrian club out of concern that there may be peer pressure or even power harassment by senior students. He would not want to experience hazing just to belong to a club. In addition, the equestrian club probably would not help his academic performance like a Greek fraternity might do. Most importantly, he is nervous about riding horses! (64 words)

IV

(A) The genuine desire to explore the unknown and achieve what has never been done before—ranging from fine arts and music to the performing arts—is what drives "culture".

(B) People known as scientists take pleasure in challenging the limitations of our knowledge. "Culture" is defined not only by the results but also the process of overcoming these limits. "Culture" is not concerned with whether a discovery is useful or not.

【解説】

I

- 問 2 第 2 段落の **A number of laboratory experiment** 以下の内容と **Yale University** 以下の内容をまとめる。
- 問 3 実証的な検討では、決まった答えがでないこと。を 4 段落後半をまとめる。
- 問 4 真実(真理)が、より確実になる。ではおかしいので "事実" とする。
- 問 5 (4) **scrutiny** は易しい語ではないが、本文うしろの **revision and rejection** で選べる。

II

- 問 1 該当箇所は 2 行上の **the idea that**～以下。下線部の **notion** と **idea** が書き換えの関係になっていることを見抜く。関係代名詞の **that**、**place an emphasis on**、**rather than** に注意して訳す。
- 問 2 下線部 A を含む直前の文で、たくさんの証拠があることが述べられているため、並べ替えの最初はその例となるものが該当し、候補はイかウ。イのあとには、イの **seven connected devices** に対応する **that figure** を含むアが続く。アとイは **devices** の内容である一方、ウとエは **technology** に関する内容のため、アとイとは異なる。エは話題を足す **What's more** から始まっているため、ウの前にエが適切。従って、ウが最初に来る可能性はなくなり、イが最初となる。
- 問 3 段落全体の趣旨は、「映画を見る方法が変わり、どう考え何を買うかがレビューの影響を受ける」というもの。この趣旨が続く主題文としては、ウの「接続された装置は製品や物に対する我々の考え方を換え、我々の行動にも大きな変化を促す」が適切。
- 問 4 1 行目の関係代名詞のあとの **Internet enabled** は、インターネットで動作可能(スイッチが入る)となる、が直訳。間にハイフンを補うとわかりやすい。2 行目では、設定によって自動的に明かりの電源が入ることと、明かりをつけたい時につけられるということの差がわかるように **program** と **manually** を訳出する。**but** の行の **that** は **software** にかかる関係代名詞で、文末の **save money** は **can be** の **be** と等位接続詞されている。**offering** には意味上の主語がないため、**offering** の主語も **it**。
- 問 5 イ: 第 3 段落の内容と一致。エ: 第 5 段落下線部後の記述と一致。キ: 最終段落の内容と一致。
- ア: 第 1 段落参照。電話販売における革新的技術が自動車を安全にしたり薬をよりよくしたという記述はない。
- ウ: 段落 4 段落参照。インターネットに接続された装置自体の価値が高まるとは記述されているが、使用者の価値が高まるとは記述されていない(**add~to...**ではなく **add~for...**であることに注意。**add** と **for** に意味関係はない)。

オ: 第 6 段落参照。家にあるものが少なくなっていることが店から通知されるわけではない。

カ: 第 7 段落参照。装置を繋ぐ方法を使い果たしたという記述はない。

III

1) ① ~に応える、~に合わせる

③ 過剰な、やりすぎの

2) 解答にあたっては、会話内から必要なポイントを探し出し、自分の解答に取り込んでいくようにすると取り組みやすいが、本文のフレーズをそのまま使い過ぎないように気をつけること。

IV

1) fine arts : 美術、芸術

2) take pleasure in ~ing : ~することを楽しむ

【配点予想】

200 点満点

I

大問計 58 点
 問 1 6 点
 問 2 16 点
 問 3 6 点
 問 4 10 点
 問 5 各 5 点 (5 点×4 問) = 20 点

II

大問計 64 点
 問 1 12 点
 問 2 (完答で) 8 点
 問 3 6 点
 問 4 20 点
 問 5 各 6 点 (6 点×3 問) = 18 点

●和訳および記述型答案内容の判断基準表

| レベル | 判断基準 | 得点率 |
|-----|--|------|
| A | 模範解答と同一、もしくはほぼ同一の答案内容。 | 100% |
| B | 模範解答に比べ若干異なる点はあるものの主旨が明確に把握できており、なおかつ単語、熟語、その他の細かな訳出に関してもほとんどミスが見られない。 | 75% |
| C | 主旨はかろうじて把握はしているが、単語、熟語、その他細かな訳出に関して、欠落、誤訳が目立つ。 | 50% |
| D | 主旨も把握しておらず、単語、熟語、その他細かな訳出に関しても欠落、誤訳が見られる。 | 25% |
| E | 無解答、もしくはそれに近いもの。 | 0% |

III

大問計 36 点
 1 各 6 点 ※順不同 (6 点×4 問=24 点)
 2-(a) 6 点
 2-(b) 6 点

IV

大問計 42点

(A) 14点 (B) 28点

※下記「和文英訳判断基準表」を参考に適宜配点すること。

●和文英訳判断基準表

| レベル | 判断基準 | 得点率 |
|-----|---|------|
| A | 模範解答とほぼ変わらぬ英文。 | 100% |
| B | 模範解答に見られる表現力とはやや隔たりがあるものの、原文の意味はかなり伝わる英訳になっており、英文構造も全体として成立している。単語・表現の適切さや細かな文法性に関してもそれほどのミスが見られない。 | 75% |
| C | 模範解答に見られる表現力とはやや隔たりがあるものの、英文構造は全体として成立している。ただし、単語・表現の適切さや細かな文法性に関してかなりミスが目立つ。 | 50% |
| D | 模範解答に比べ隔たりがあるだけでなく、英文構造が全体として成立していない。また、単語、その他の表現が原文の意味になっておらず、文法上の運用ミスもかなり目立つ。 | 25% |
| E | 無解答、もしくはそれに近いもの。 | 0% |